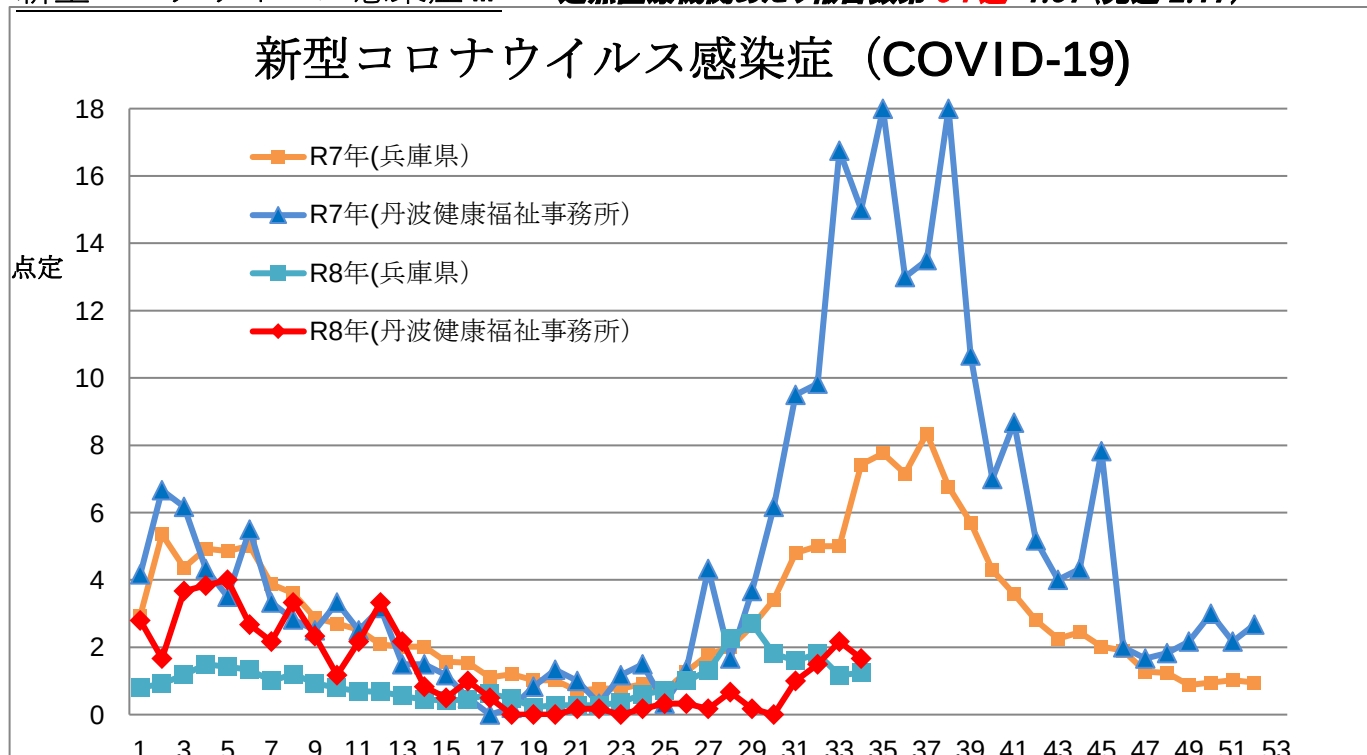


丹波地域の感染症発生動向調査

2026年 第34週(2026.8.17~8.23)

1 今週のトピックス

- 新型コロナウイルス感染症 ... 定点医療機関あたり報告数第 **34週 1.67** (先週 2.17)



コロナ感染症に感染したときは、同居している高齢者やお子様への二次感染を予防病、流行の予防に努めましょう。

家族が新型コロナウイルスに感染した時のポイント

新型コロナウイルス感染症に感染された方について

発症後5日間かつ症状が軽快して24時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから、外出を控えることが推奨されます。また、10日間が経過するまでは、マスクを着用し、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

お世話をする方や同居家族の方について

ご自身の体調にも注意してください。

- 感染した方の発症日を0日として、特に5日間は注意してください。
- 7日目までは発症する可能性があります。
- 外出するときには人混みを避け、マスクを着用しましょう。高齢者等のハイリスク者との接触を控えるなど、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

家庭のできる感染対策

1.窓を開けて換気

定期的に換気をしましょう。共用スペースや他の部屋も継続に換気しましょう。

2.部屋を分ける

可能な範囲で部屋を分けましょう。お世話はできるだけ離れた方で、接触する時間をなるべく短くするようにしましょう。

心臓、肺、肝臓に特病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染のお世話をするのは避けてください。

3.マスクを着用

同居家族は可能な範囲でマスクを着用しましょう。感染した家族に接する時や外出する時はマスクを着用しましょう。マスクを密閉・密着・フィットさせ、正しく着用しましょう。

4.手洗い等の手指衛生

こまめに手洗いしましょう。

その他一般的な衛生対策として、汚れたリネン・洋服は洗濯し、ゴミは密閉して捨てましょう。

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

作成：令和5年5月6日

手足口病に注意しましょう

第34週（8月17日～8月23日）における、県内の定点あたりの患者数は0.0人（先週1.0人）となっています。

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排出されたウイルスが口の中に入って感染すること）が知られており、特に保育園や幼稚園などの乳幼児施設では、注意が必要です。

流水や石けんによる手洗いや排泄物の適切な処理を行い、感染を予防しましょう。

感染症対策

手や足、口の中などに
発しんはありますか？



てあしくちびょう 手足口病

手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間ですぐに治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。

感染してから数日後に2～3mmの水疱（発しん）がみられます。



流行時期

夏

を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。



感染経路

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口の中に入って感染すること）が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育園施設や幼稚園などで注意が必要です。

感

治療方法

手

手足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- ☐ 高熱が2日以上続く
- ☐ 嘔吐する
- ☐ 頭を痛がる
- ☐ 視線が合わない
- ☐ 呼びかけに答えない
- ☐ 呼吸が速くて息苦しそう
- ☐ 水分が取れずにおしっこがでない
- ☐ ぐったりとしている

- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。た、感染しても発病しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急（<https://kodomo-qq.jp/>）」などのWebサイトを参照したり、「#8000（こども医療電話相談）」にご相談ください。

手足口病について ▶
厚生労働省



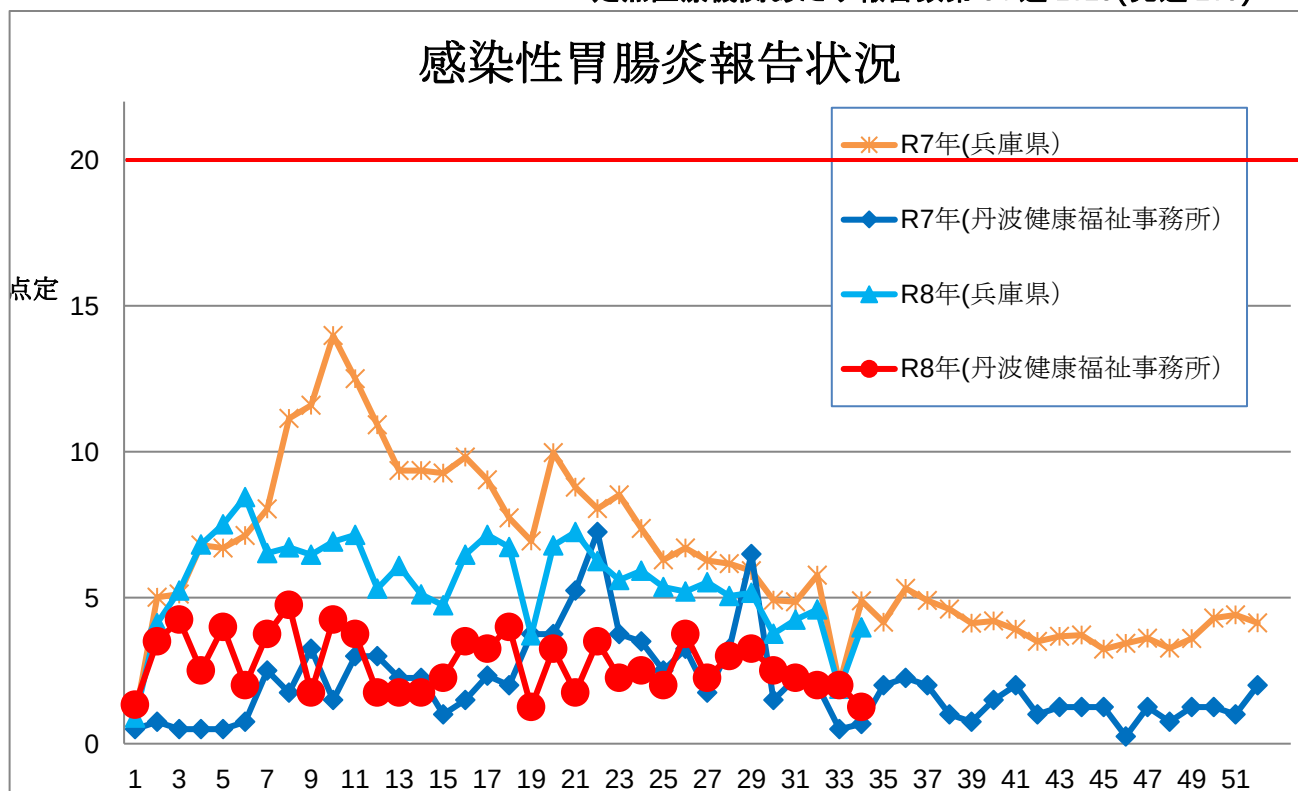
感染症対策課 2026年6月 作成

手足口病 | 厚生労働省 | 厚生労働省
兵庫県／兵庫県感染症対策センター

2 注目の感染症

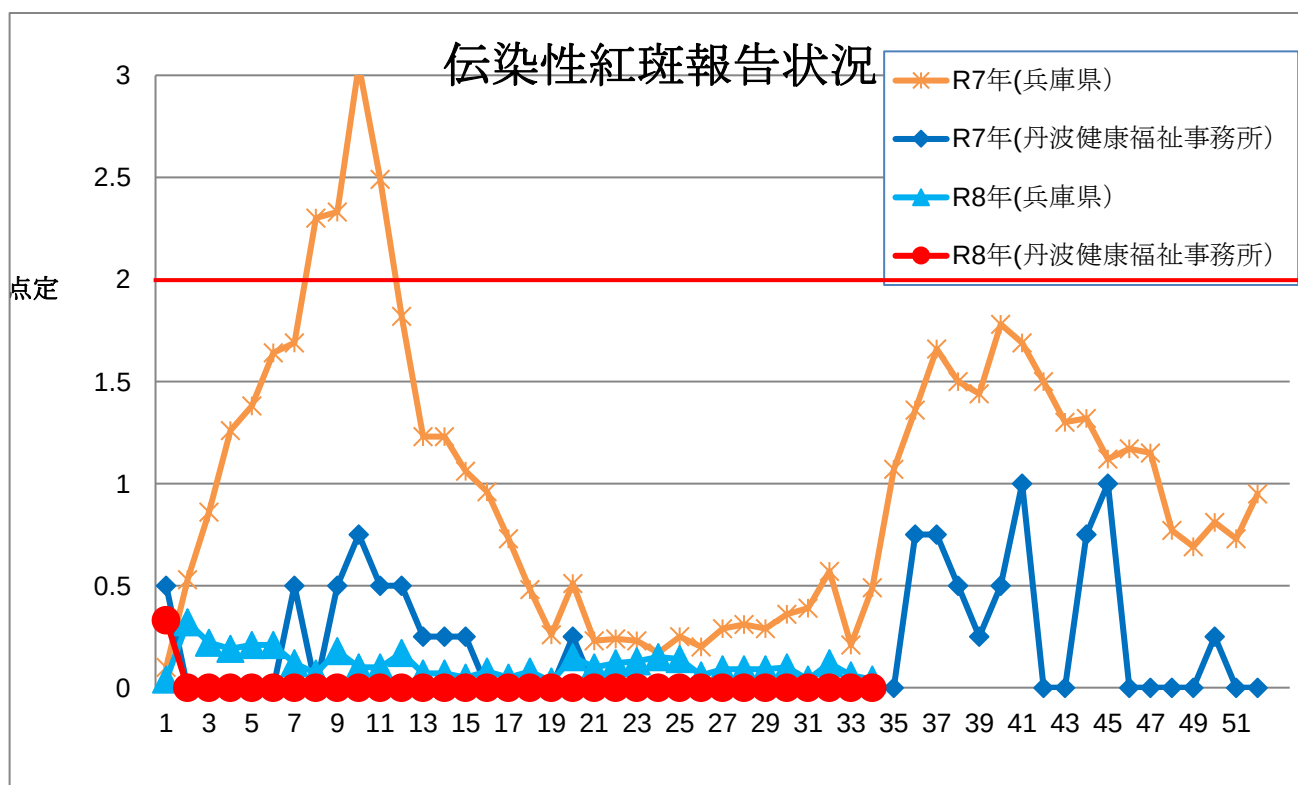
・ 感染性胃腸炎...減少

定点医療機関あたり報告数第 34 週 1.25(先週 2.0)

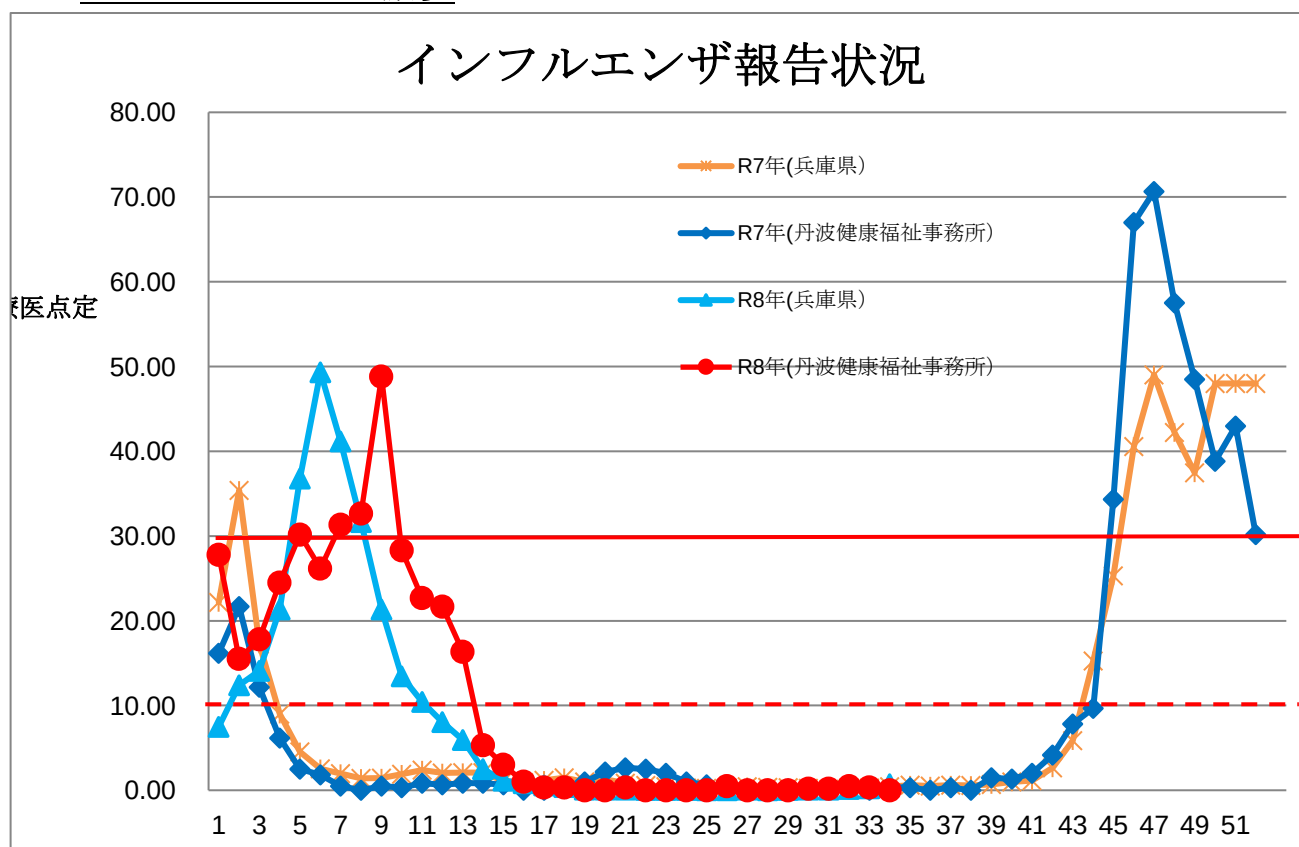


・ 伝染性紅斑...増減なし

定点医療機関あたり報告数第 34 週 0.00(先週 0.00)



・ インフルエンザ...減少



インフルエンザは、第34週で 0.0（先週 0.33）となりました。注意報レベル（10.00）を下回っています。

■ 感染症は予防が肝心です

県民の皆さまにおかれましては、以下の感染症対策を徹底し、感染予防に努めましょう。

1. 手洗いの励行

帰宅時には石けんを用いて手洗いを行い、手指に付着したウイルスを物理的に除去することで感染リスクを減少させましょう。

2. マスク着用と咳エチケット

人混みではマスクを着用し、咳エチケットを守ることが重要です。帰宅後は、マスクの外側を内側に折りたたんでから廃棄してください。

3. 室内の湿度管理と換気

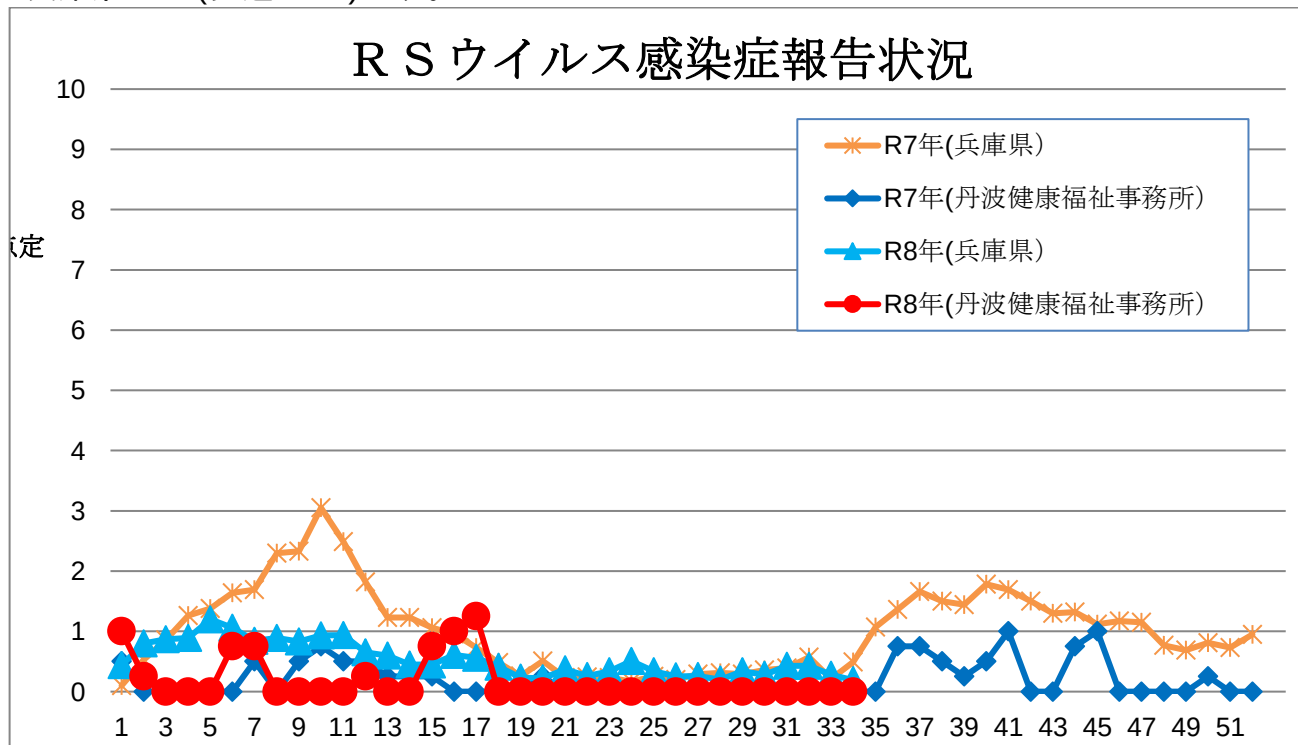
室内では適切な湿度を保つことが大切です。空気が乾燥すると感染リスクが高まるため、加湿器を活用し、湿度を50～60%に維持することが推奨されます。また、適宜窓を開け、室内の空気を入れ替えましょう。

4. 免疫力の維持・向上

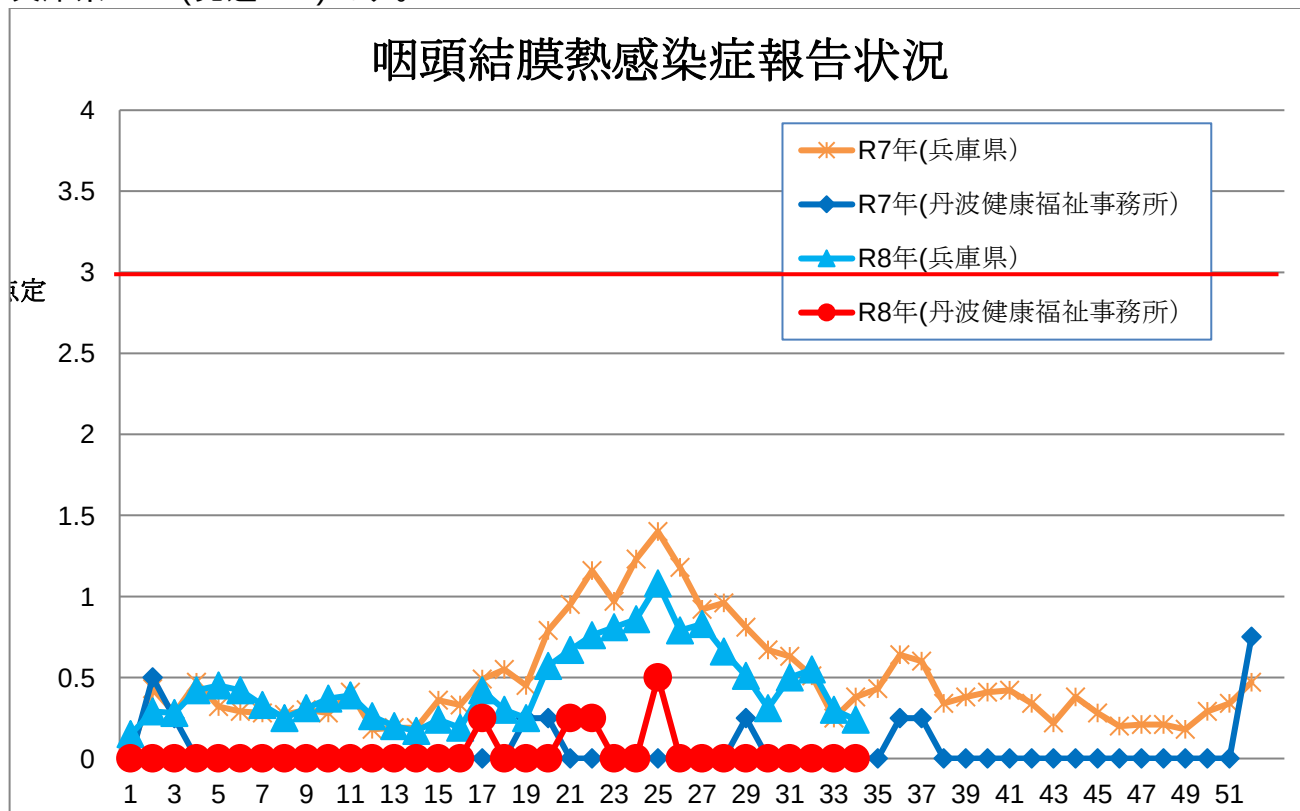
免疫力を高めるため、バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけましょう。併せて、ビタミンC・ビタミンD・亜鉛などの栄養素を積極的に摂取することも有効です。

3 その他感染症

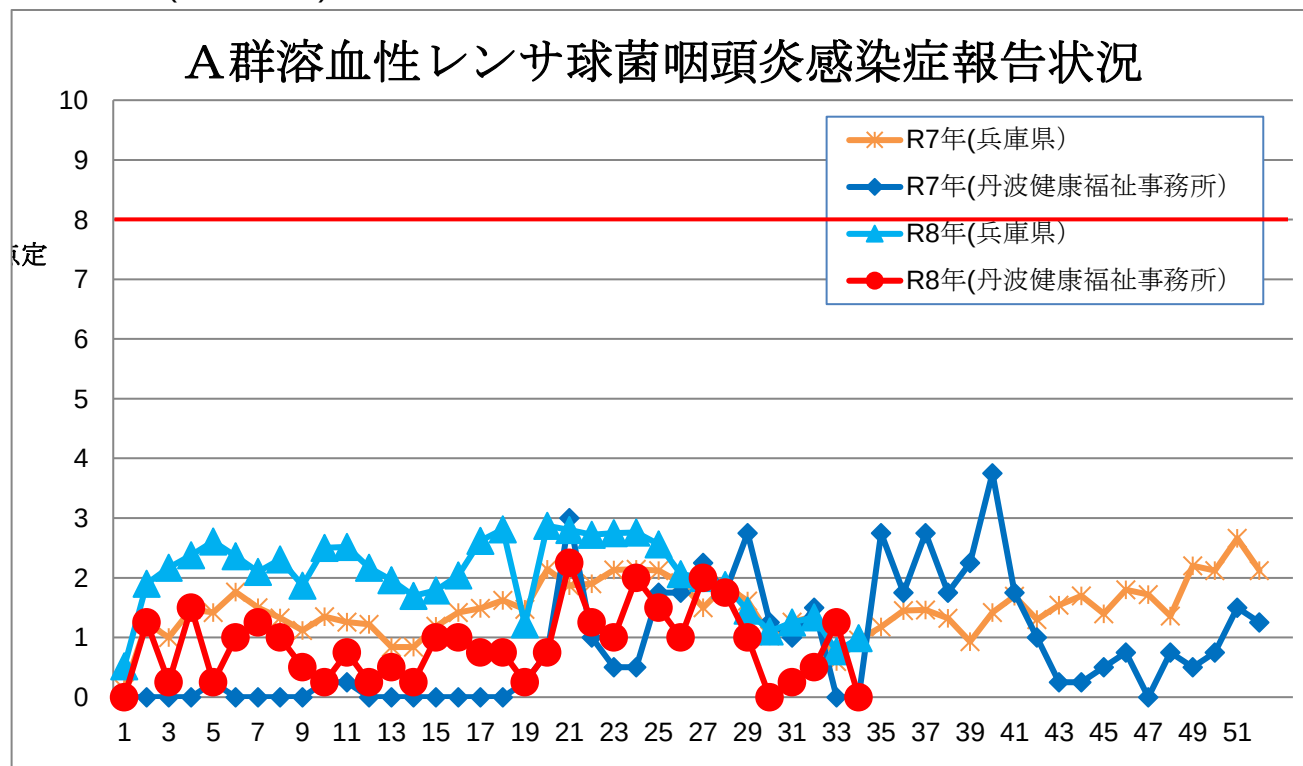
第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.19(先週 0.28)です。



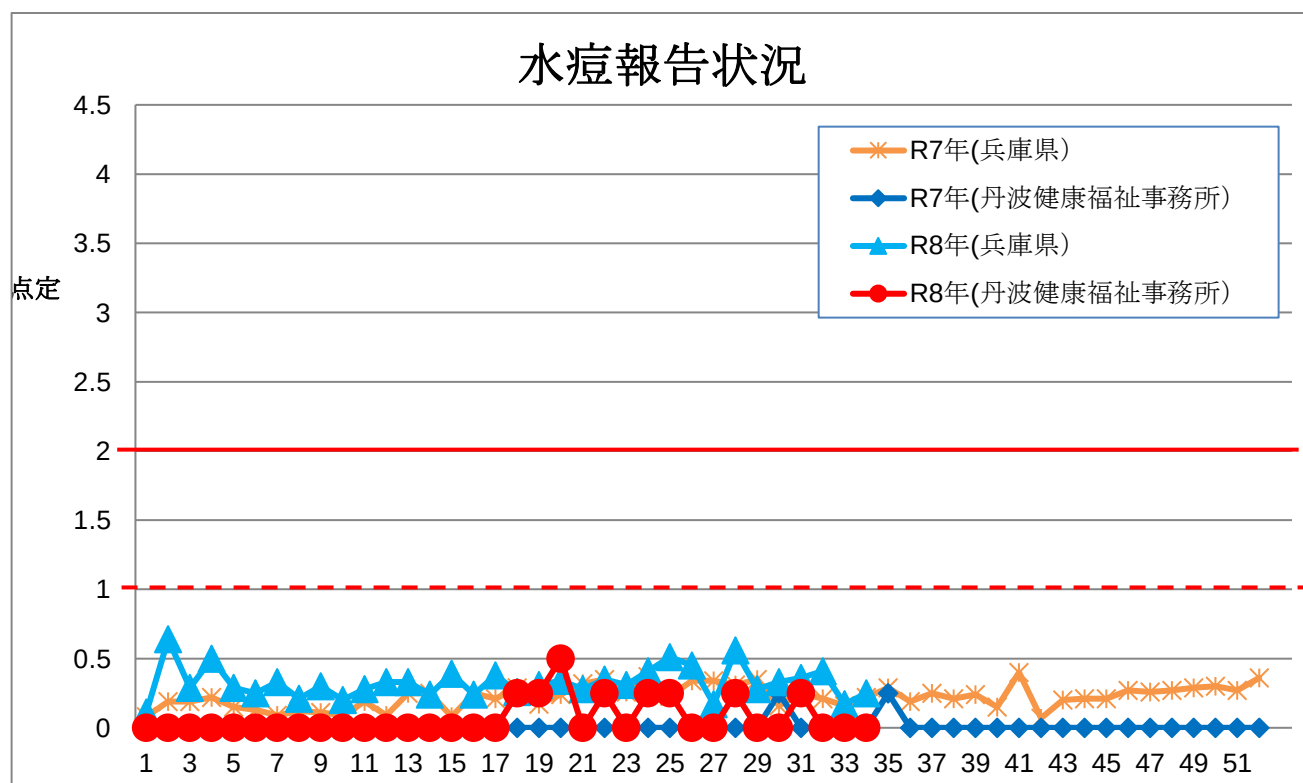
第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.24(先週 0.3)です。



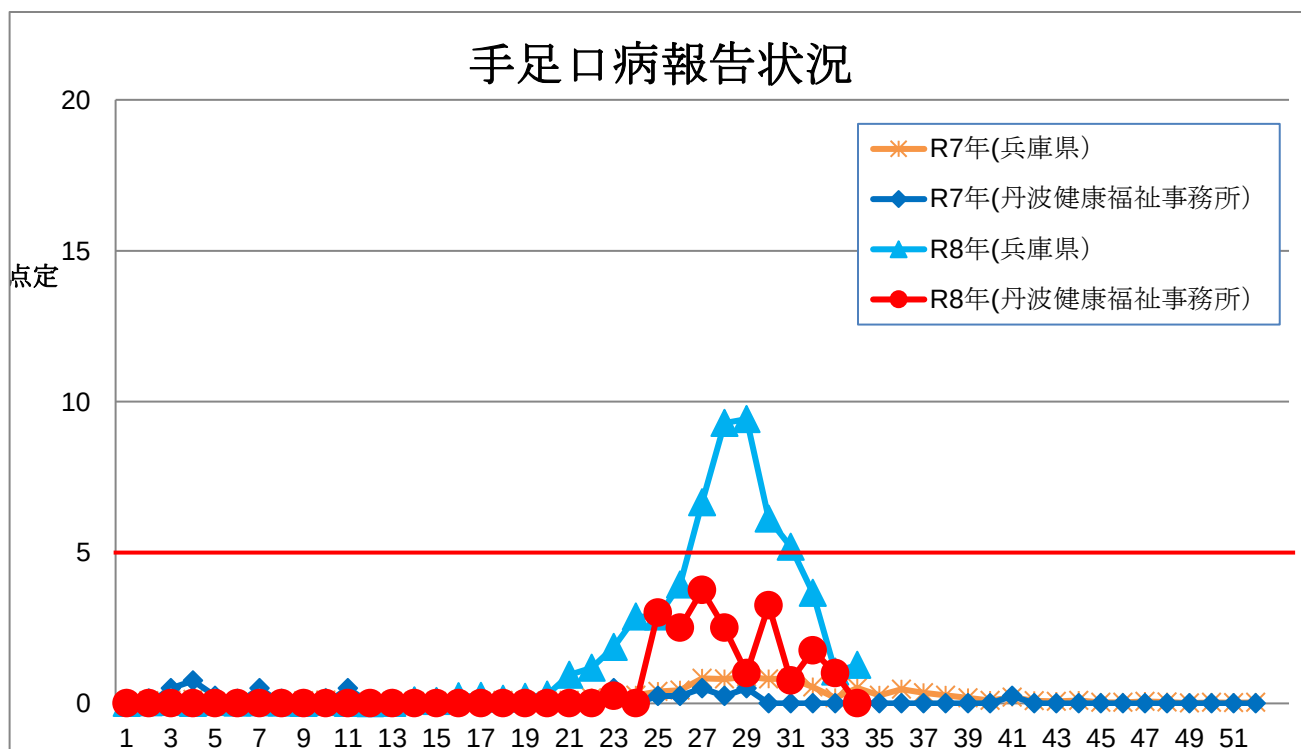
第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 1.25)、
兵庫県 0.99(先週 0.77)です。



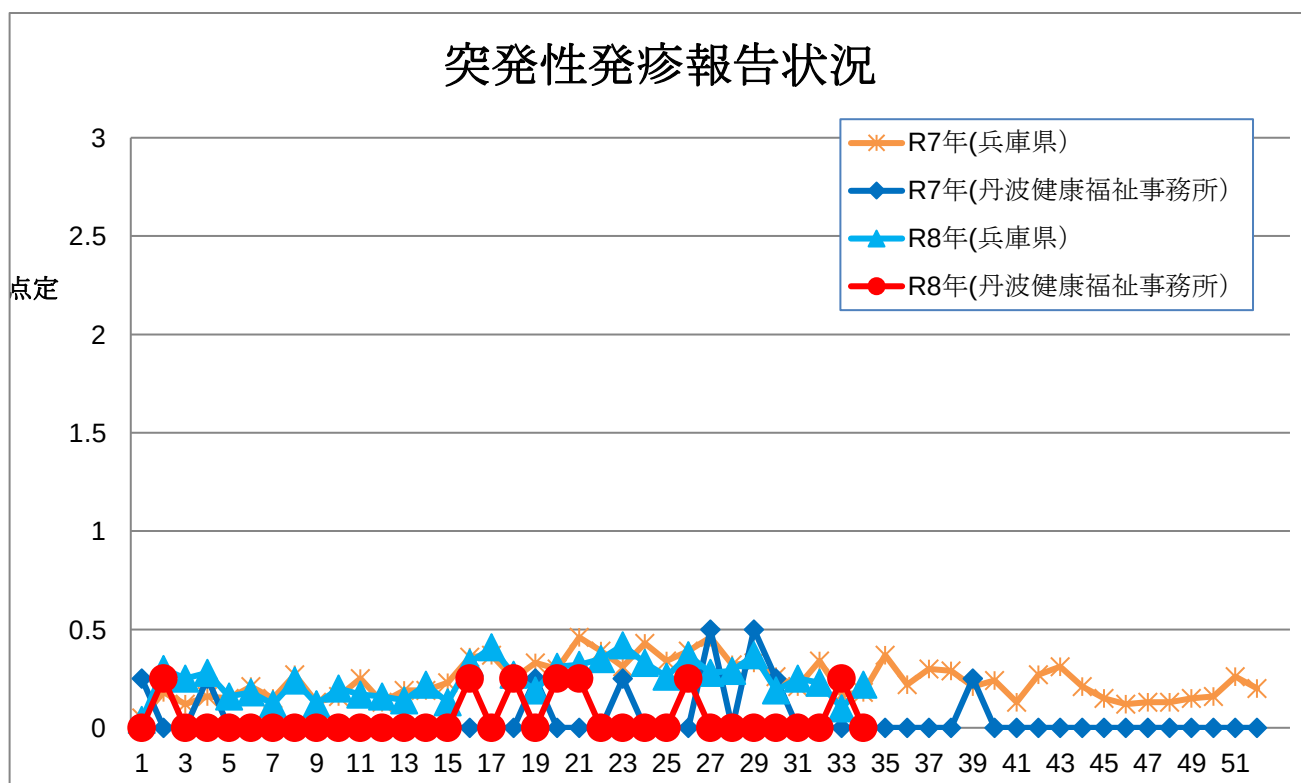
第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.25(先週 0.17)です。



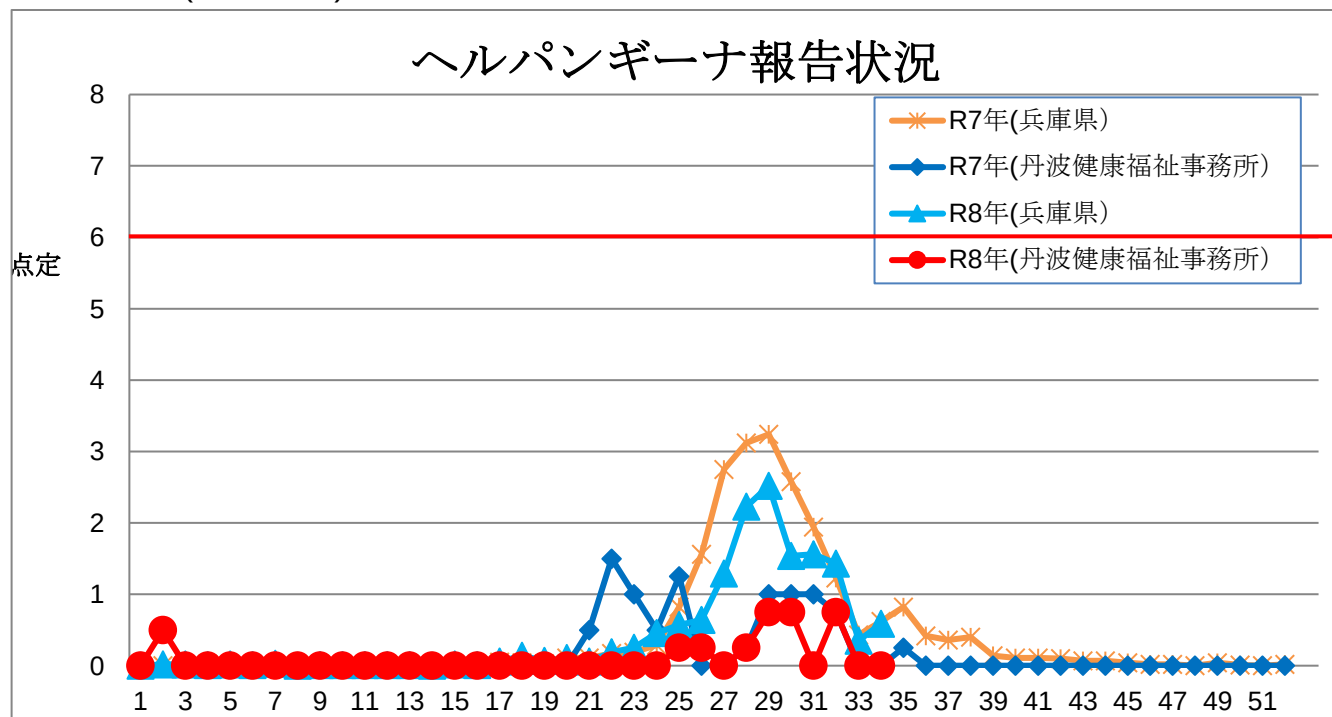
第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 1.0)、
兵庫県 1.27(先週 1.05)です。



第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.25)、
兵庫県 0.22(先週 0.1)です。



第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.59(先週 0.35)です。



第 34 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.0(先週 0.0)、
兵庫県 0.1(先週 0.02)です。

